

# ユニアデックス

## EMC Ionix 運用監視自動化ソリューション

世界の有力企業で採用されているEMC社の先進ソフトウェアを活用し、運用監視の根本的な課題解決を実現します。

ネットワークICT環境の正確なトポロジーを迅速かつ容易に自動マッピング。  
動的に変化するインフラストラクチャーコンポーネントを自動的かつリアルタイムに検出。

障害の根本原因をネットワークケーブル破損のレベルまで自動分析。  
だから、障害切り分け時間の大幅短縮が可能。



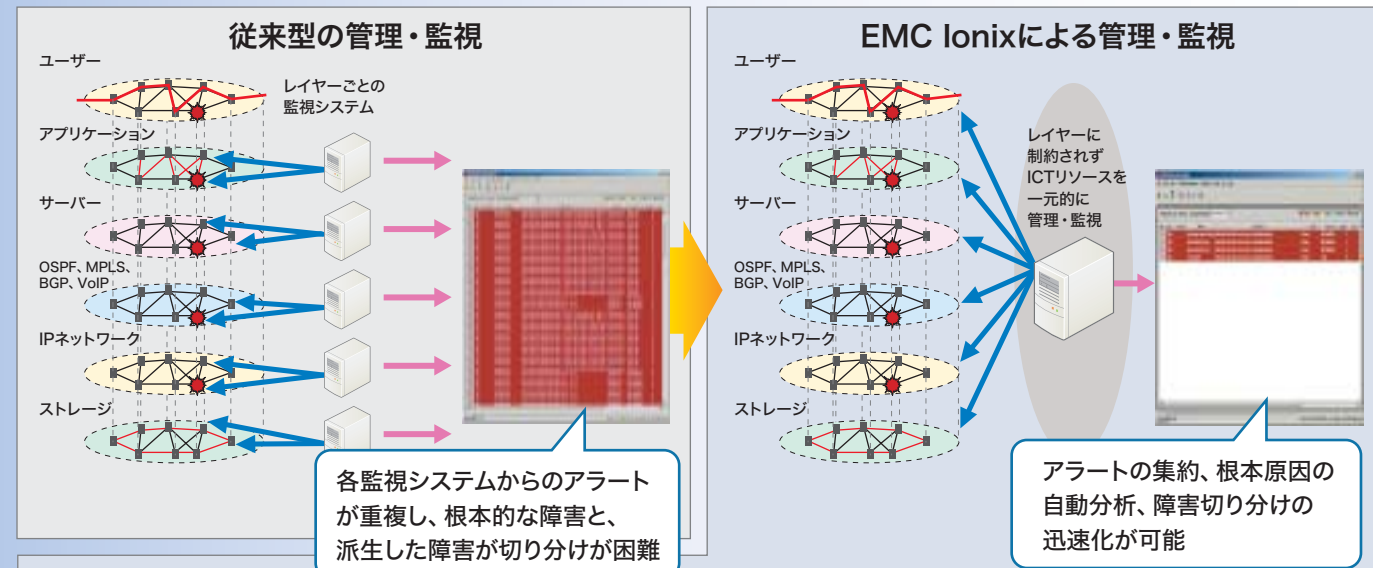
**UNIADEX**

# 複数レイヤーにまたがるすべてのICTリソースを エージェントレスで一元的に可視化。

## 障害箇所の特定～ビジネスインパクト分析の自動化を可能にします。

多くの企業では、ビジネスの基盤となるICT活用を継続的に拡大してきた結果、システム環境の複雑化という問題に直面しています。運用監視の仕組みもその都度、個別に導入されてきたため、システム全体の詳細構成をリアルタイムで把握することは極めて困難です。EMC Ionixはストレージ、サーバー、ネットワーク、アプリケーションなどの各リソースをエージェントレスで自動的にトポロジーにマッピングし、そのトポロジーおよび特許技術であるCodebook Correlation Technologyにより自動的に根本原因を特定します。トポロジーのモデリングにはCommon Information Model (CIM) \*1をベースにしたモデリング技術を

採用しており、トポロジーに対し、企業のビジネスサービスの基盤となっているネットワークとアプリケーションのリソースおよびユーザーの関連付けを追加できます。この関連付けを行うことで、障害がビジネスサービスとそのユーザーへ、どれほどの影響を与えるかを自動的に解析しビジネスのインパクトとして報告されます。このように重要なサービスの継続性を確保するための迅速かつ正確な判断と行動を支援します。EMC Ionixは運用監視の全体最適化を実現、企業が目指す戦略的なシステム更新・統合化、障害復旧時間の短縮やリスクマネジメント強化への最強のソリューションとなります。



必要な情報を  
わかりやすく把握し、  
少人数で管理・監視、  
障害対応が可能

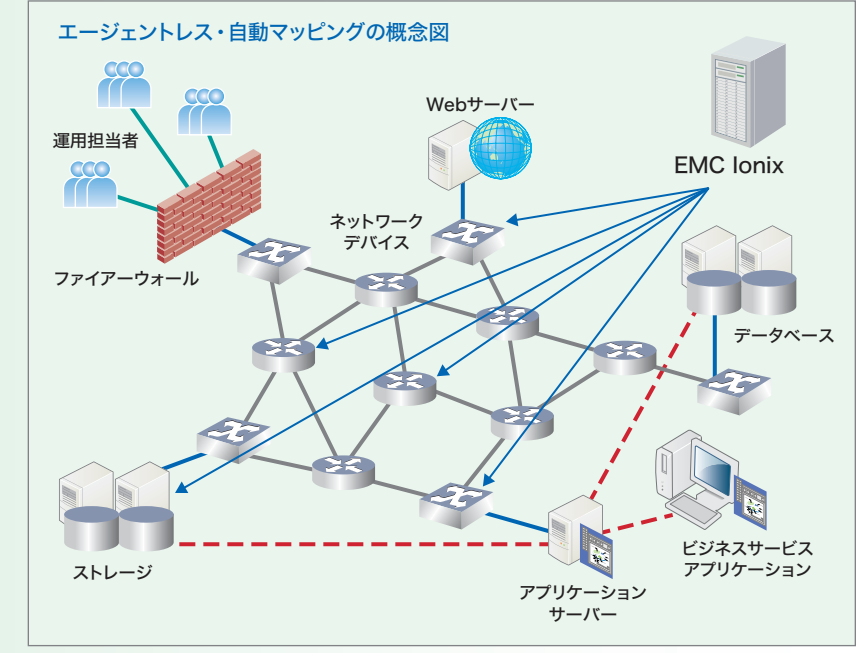
- Business Impact View**  
重大なビジネスに影響を与える問題を特定
- Dashboard View**  
ビジネスやサービスへの影響度を可視化
- Summary View**  
システムパフォーマンスなど主要指標を一覧
- Notification View**  
通報された障害の原因を効率的に検証
- Topology View**  
ネットワークへの影響を表示
- Application View**  
障害が発生しているアプリケーションを特定

\*1 Common Information Model : 企業のIT環境においてシステム管理のための標準を策定・保守する標準化団体Distributed Management Task Force (DMTF) によって策定されたIT環境における管理対象を共通のオブジェクトとオブジェクト間の関係で表現する概念スキーマとその基盤。

# EMC Ionixなら 運用監視の大きなハードルを越えられます。

## 導入効果 1 仮想環境を含めたICT全体の構成管理を効率化し、管理コストを大幅に削減

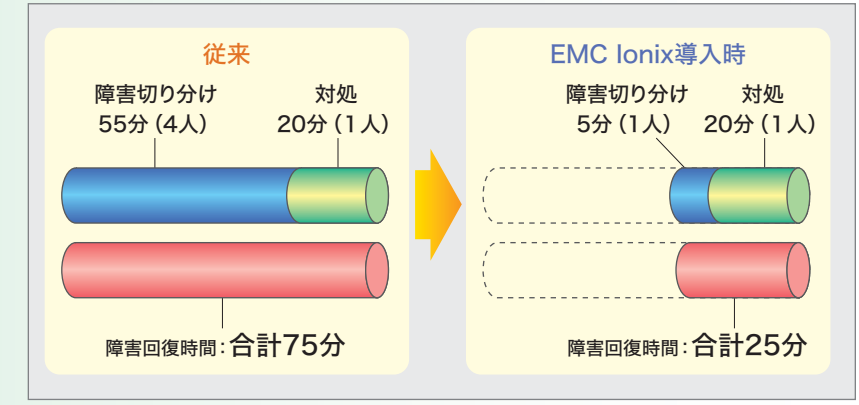
EMC Ionixは、独自のハイブリッドディスクバリエーションにより、システム内のネットワーク、サーバー、アプリケーション、ストレージシステムを、エージェントを使わずに自動検知。レイヤー2レベルからの機器構成、アプリケーションの依存関係などをリアルタイムで正確に把握することができます。VMwareの仮想化環境にも対応し、専門スタッフの手を借りずにシステムの変化を自動追跡することも可能。ITILのCMDB\*2基礎情報を得て高品質な運用管理を行うこともできます。



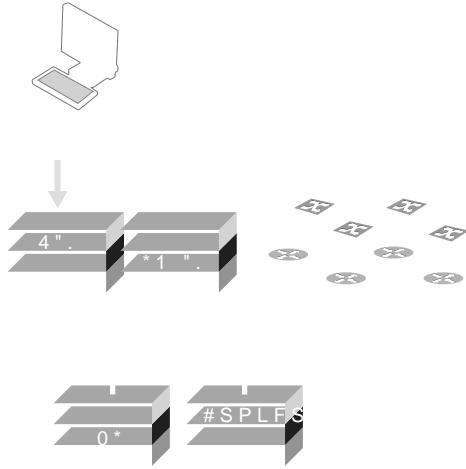
\*2 CMDB: Configuration Management Databaseとは、情報システムの全コンポーネントに関する情報の統合された保管・管理(構成管理)を行うデータベース。

## 導入効果 2 障害復旧作業の大部分を占める「障害切り分け」の時間を劇的に短縮

特許技術の原因解析エンジンCCTを持つEMC Ionixは、障害特定の精度が極めて高く、問題発生の際に早期に発見しユーザーに詳細なレポートを提供します。障害発生時には根本原因を迅速に分析し、根本原因から派生したアラートを自動的にコリレーション(相関関係の把握)、重要度を色分けして表示するなど、障害切り分け時間の大幅削減に効果を発揮。複数のスタッフによる監視・切り分けから発生するコスト負担やリスクを排除し、ビジネスの安全性・収益向上に寄与します。



UIR «



5SBQZTMPHsr

# UNIADEX

ユニアデックス株式会社 **UNIADEX, Ltd.**

〒135-8560 東京都品川区1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan  
 TEL 03-5546-4900 代表 TEL 03-5546-4900  
 URL <http://www.uniadex.co.jp/> URL: <http://www.uniadex.co.jp/>

東京 TEL06-7178-0211 大阪 TEL052-204-6850 横浜 TEL092-473-3003  
 札幌 TEL011-242-2350 福岡 TEL022-261-9217 仙台 TEL025-247-7600  
 名古屋 TEL045-681-8861 新潟 TEL048-642-5881 金沢 TEL076-233-9850  
 広島 TEL054-272-4722 岡山 TEL082-242-5088